マルチ CD･DVD ライタ

取扱説明書

DVMR870

DVMR1110

はじめに

　このマニュアルは CD、DVD の複製を行う『マルチ CD・DVD ライタ』の取り扱い説明書です。

　今回、自社開発のコントローラにかわって ACARD 社のコントローラを採用したことで、DVD の機能が追加され、高機能な製品を安価にご提供できるようになりました。ただ、ドライブは基本的に消耗品扱い（修理せずに交換）となりますのでご承知おき願います。なお CD・DVD ドライブを使用していますが、BD 用コントローラを搭載していますので将来 BD ドライブに換装することで BD ライタとなります。ただ、将来のドライブに言及することはできませんので、あくまで本コントローラで使用可能なドライブが存在することが条件となります（ファームウェアのアップデートとあわせて弊社にてお受けいたします）。

安全上のご注意（必ずお読みください）

ここでは，この製品を安全に正しくお使いいただき，お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため，必ずお守りいただく事を説明しています。お使いになる前に必ずお読みください。

一度電源を切ってから再度電源を投入する際は、機器の故障を防ぐため、5 秒以上待ってから電源を再投入してください。

このマニュアルでは，以下のような記号による表示をしています。内容をよく理解した上でお読みください。

警告　この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意　この表示を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。

警告

異常が起きたら

煙が出ている、変なにおいや音がしているなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社あるいは販売店に修理をご依頼ください。

内部に異物や液体を入れない

本機の内部に異物や液体が入ると火災・感電の原因となります。通風孔などから内部に異物を入れないでください。また、倒れると内部に液体が入る場合がありますので、液体の入った容器を本機の上に置かないでください。万一、機器の内部に異物や液体が入った場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社あるいは販売店にご連絡ください。

電源コードを傷つけない

電源コードが破損すると，火災・感電の原因となります。

・電源コードの上に重い物を乗せたり、足で踏んだりしない。
・熱機具に近づけたり、加熱したりしない。
・加工したり、傷つけたりしない。
・無理に曲げない、ねじらない。
・電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずにプラグをもって抜く。

電源コードが破損した場合には、弊社または販売店宛に交換をご依頼ください。

電源プラグをコンセントに挿す時の注意

電源プラグをコンセントに挿す時、先端の金属部分をさわらないでください。また濡れた手で電源プラグをさわらないでください。感電の原因となります。

分解・改造しない

このマニュアルで説明された以外の箇所を開けたり、分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。

海外では使用できません

この機器は日本国内でのみ使用できます。仕様で表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。海外での使用を希望される場合には、弊社にご相談ください。

注意

接続前の注意

他の機器を接続する前に各機器の取扱説明書をよく読み、電源を切った上で説明に従って接続してください。

設置場所について

次のような設置場所に置かないでください。火災・感電やけがの原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気のあたる場所
- 湿気やほこりの多いところ
- 不安定な台の上や傾いたところ
- 直射日光のあたる場所

移動させるとき

移動させるときは電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを全てはずしてから行ってください。コードが傷ついて火災・感電の原因となったり、機器が転倒してけがの原因となったりすることがあります。

長期間ご使用にならないときなど

長期間ご使用にならないときやお手入れのときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品を運用した結果の影響につきましては、前章に関わらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

梱包内容の確認

梱包を開けましたら、以下の物品が全て揃っていることをご確認ください。

マルチ CD・DVD ライタ本体 1 台

- AC電源ケーブル……1本
- 取扱説明書（本書）……1冊
- DVD-RWメディア……10枚
- USBケーブル（2メートル）……1本
- PC接続用ソフトウエアCD……1枚
- 保証書……1枚
- ユーザ登録用FAX用紙……1枚

この製品は、厳密な品質管理の元に製造・出荷しておりますが、万一、欠品や不良品などがございましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。

目次

1．各部の名称と機能

《 DVM R870 》

操作パネル

電源スイッチ

マスター用ドライブ
（USB モードのドライブ
にもなります）

01　CH01
S-MULTI:ATAPI

などと表示される。

上から

CH00 → HDD
:Hitachi
CH01 → S-MULTI
:ATAPI

・
・
・

CH08 → S-MULTI
:ATAPI

などと表示される。

（背面）

《 DVM R1110 》

操作パネル

マスター用ドライブ
（USB モードのドライブ
にもなります）

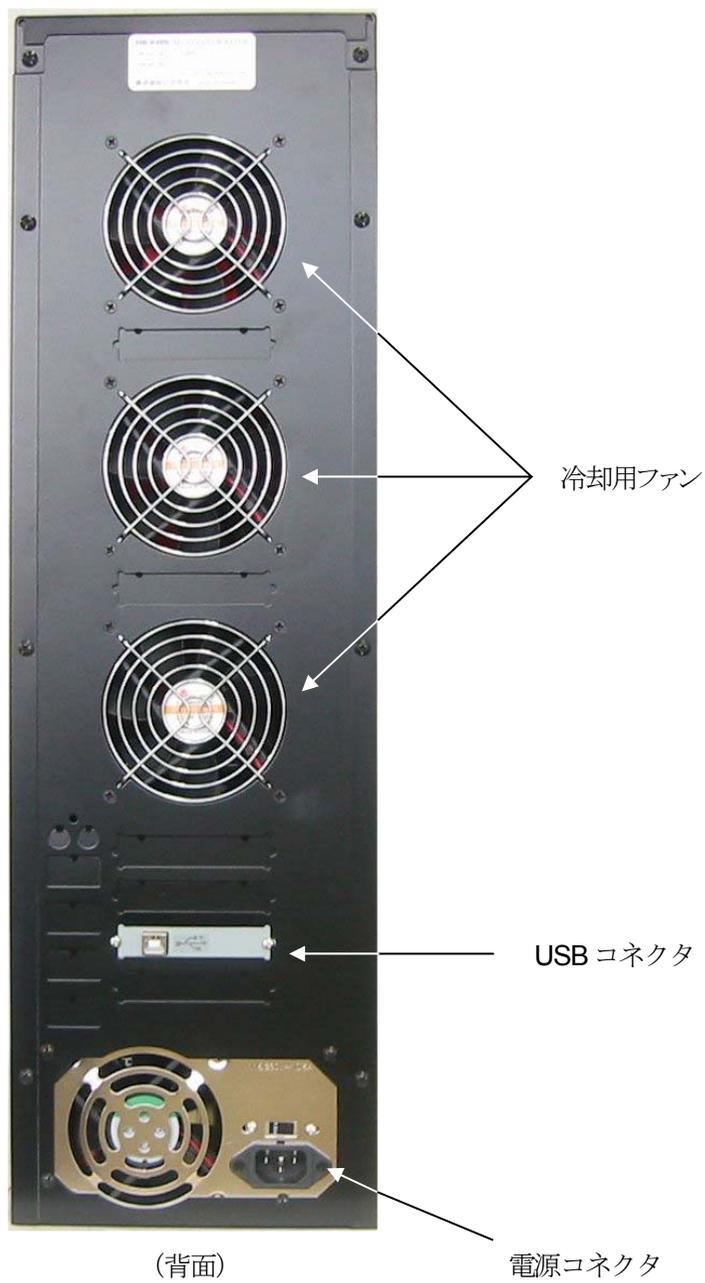
01　CH01
S-MULTI:ATAPI

などと表示される。

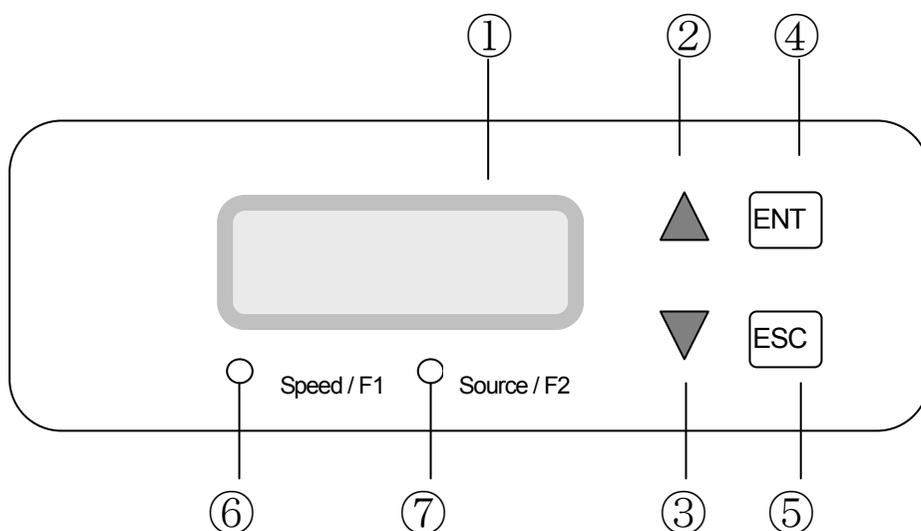
上から

CH00 → HDD
:Hitachi
CH01 → S-MULTI
:ATAPI
・
・
・
CH11 → S-MULTI
:ATAPI

などと表示される。

（背面）

２．クイックスタート

ここでは、最初にお使いになる場合の取り扱い（操作方法）と、動作確認の方法について説明します

2.1. 操作パネルの機能

① 機能やメッセージを表示します。
② メニューや設定を上にスクロールします。
③ メニューや設定を下にスクロールします。
④ 決定ボタンです。
⑤ キャンセルボタンです。
⑥ “スピードメニュー” にジャンプします。
⑦ “ソースメニュー” にジャンプします。

電源が投入されると本機は DVD -ROM、DVD Writer を検出し、数秒間自己診断を行い（約 13 秒）、次のメッセージを表示します。

```
Booting ...
```

```
BD/DVD  Dup1.
2057B  ver：1.17v
```

起動が完了すると、最初のファンクションであるコピーファンクション（Copy）が表示されます。

```
1.Copy
```

あるいは、出荷時の設定によっては次のように表示されます。

【動作確認の方法】

本機は、コピー元（マスター）の CD・DVD からその都度（毎回）読み込んで、それを直接書き込む方法（オンザフライコピー）と、いったん HDD にダウンロードを行い、そこから読み込んで書き込む方法（イメージコピー）の 2 通りの使い方ができますので、この使い方をテストすることで動作確認ができたことになります。

2.2. オンザフライコピー

オンザフライコピーは、コピーする CD・DVD から読み取ったデータをそのまま直接ブランクメディアにコピーします。

オンザフライコピーの操作は、本機の表示、つまり本機が最後に行った処理（出荷検査に相当）によって変わります。

2.2.1. オンザフライコピーの操作 1

この場合は、すでにオンザフライコピーの設定になっていますので特に設定する必要はなく、1 ボタンでコピーができます。

(1) まずコピーする DV D を用意します。プロテクト（CSS）がかかっている市販の DVD ビデオなどはコピーできません。

(2) ブランクメディア（DVD-R, DVD-RW など）を用意します。メディアの種類は同じものとし、同じメーカの同じ品番のものにあわせるのが好ましいといえます。

(3) コピーする DV D を一番上のライタドライブにセットします。

(4) ブランクメディアを他のライタドライブにセットします。一番下から順次セットするとよいでしょう。

(5) **ENT** ボタンを押します。自動的にトレイが押し込まれ、コピーが始まります。
コピーが終わると正常にコピーされたディスクがイジェクト(排出)されます。万一、コピーに失敗したディスクはイジェクトされませんので、ドライブ前面のイジェクトボタンで取り出してください。 7 枚まで同時にコピーできます。このコピー方法は、手軽で手早くコピーできて便利ですが、コピーする DV D から毎回読み出すため、繰り返し回数が多い場合、読み出しが不安定になることがあります。いきなりコピーすることに不安がある場合は、まず 3.2.TEST(テスト)をやってみてからにすると安心です。TEST は実際の書き込みは行いませんので、たとえ失敗したとしてもメディアが無駄になることはありません。

2.2.2. オンザフライコピーの操作 2

この場合は、イメージコピーの設定になっていますのでオンザフライコピーへの設定変更が必要です。

変更の手順

(1) ▼　▲ で　ファンクション 8（Select Source）にもっていきます。
Select Sou rce　は、コピー元のデータ（ソース）を DV D-ROM，DVD　ライタ，HDD　のどれから読み込むかを選択します。

8.Select Source

(2) **ENT**　キーと　▼　▲　キーでソース(Src)を選択します。
オンザフライコピーの場合は DVD ライタ（DVDDUAL）を指定します。

Src:　SUPER MULTI
01　CH01

(3) 選択して、**ENT** を押すと LCD　に次のメッセージが表示されます。

S-MULTI　selected

(4) **ESC**　で　8.Select Sourc e　に戻り、▼　▲　で 1.Copy　にもってくると次のように表示されます。これでオンザフライコピーの設定は完了です。2.2.1.に戻って作業してください。

オンザフライコピー初期表示

1.Copy

2.2.3. セーフモードコピー

これはコピーする CD・DVD を、いったん HDD のワークエリアに移してからコピーしますが、その一連の動作を自動で行いますのでソースディスクを差し込んでスタート（ENT）するだけです。この方法はオンザフライコピーの手軽さとイメージコピーの安定性を兼ね備えていますので一番おすすめです。この動作は **3.11.11.Burn On The Fly** （バーンオンザフライ）をオフにすることで有効になります。

2.3. イメージコピー

イメージコピーは、DVD から読みとったデータをいったんハードディスクに格納し、ハードディスクからデータを読み取って、それをコピーします。高速、しかも安定性の高いハードディスクから読み出すため、オンザフライに比べて繰り返しに強いコピー方法です。

イメージコピーの操作は、本機の表示、つまり本機が最後に行った処理（出荷検査に相当）によって変わります。

最後に行われたのが
セーフモードコピーの場合

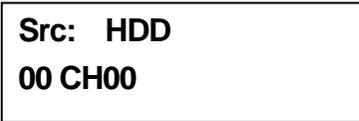
2.3.1. イメージコピーの操作 1

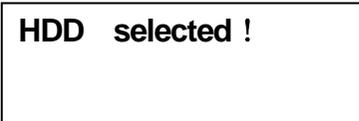
この場合は、オンザフライコピーの設定になっていますのでイメージコピーへの設定変更が必要です。

変更の手順

(1) ▼ ▲ で ファンクション 8（Select Source）にもっていきます。
Select Sou rce は、コピー元のデータ（ソース）を DV D-ROM, DVD ライタ, HDD のどれから読み込むかを選択します。

```
8.Select Source
```

(2) **ENT** キーと ▼ ▲ キーでソース(Src)を選択します。イメージコピーの場合は HDD を指定します。

```
Src:  HDD
00 CH00
```

(3) 選択して、**ENT** を押すと LC D に次のメッセージが表示されます。

```
HDD  selected！
```

(4) **ESC** で 8.Select Sourc e に戻り、 ▼ ▲ で 1.Copy にもってくると次のように表示されます。これでイメージコピーへの切替ができました。2.3.2.に進んで操作してください。

イメージコピー初期表示
（ハードディスクのパーティションが A の場合）

1.Copy　　P:A

2.3.2. イメージコピーの操作２

この場合は、すでにイメージコピーの設定になっていますので、以下の手順で操作してください。

(1) コピーする DVD（ソース）を一番上のライタドライブにセットします。

(2) ▼ ▲ でファンクション 9（9.Image）にもってきて **ENT** を押します。
下の表示はハードディスクのパーティション A（P:A）にロードしてよいかの確認です。

9-1.Image　P:A
Load

(3) 確認 OK で **ENT** を押すと、そのパーティションがまだ未使用もしくはイメージファイルが削除済みの場合はロード（Load）が始まります。すでに使用されている場合は別のメッセージが表示されますので(6) に進んでください。

Load-A-DVD　0%
4213.4MB　　7:30

(4) 終了すると次のように表示されます。

```
Image  load  OK
```

(5) HDD にコピーした一番上の DVD（ソース）を取り出します。

ESC を 2 回押し 9.Image に戻り、▼ ▲ で 1.Copy にもってくると次のように表示されますので、コピーしたいイメージファイルを選択し（P:A と表示されている場合は A パーティション、,他のパーティションを選択する場合は 9.5.Select Image から選択）コピーするブランクメディアをセットして **ENT** を押すとコピーが始まります。

```
1.Copy     P: A
```

コピーが終わると正常にコピーされたディスクがイジェクト（排出）されます。万一、コピーに失敗したディスクはイジェクトされませんので、ドライブ前面のイジェクトボタンで取り出してください。 8 枚まで同時にコピーできます。

(注) ただし、ACARD 社では推奨していません（仕様では 7 枚まで）。

(6) (3)ですでにイメージファイルが書き込まれていた場合は次のように表示されるので、上書きしてよい場合は Ye s（**ENT**）を、上書きしない場合は **ESC** で戻ります。

```
Image  Exists
Overwrite? Yes
```

ESC で次の表示に戻ったら、ロードしてよい（未使用もしくは上書きしてよい）パーティションを探します。

```
9.Image
```

ENT と ▼ で、9.5.Select Imag e にもってきて **ENT** で次のように表示されるので ▼ ▲ でパーティションを移動させます。

Select Partition
C:DVD 4213.4MB

上の表示の場合、 **ENT** で次のように表示されパーティション C が選択されました。

Set Partition to
C

2.3.2.の（2）に戻って、操作を続けてください。

３．ファンクション（機能詳細）

本機には、Copy，Test，Test&Copy，Verify，Compare，Prescan，Disc info，Select Source，Image，Edit Track，Setup ，Advanced Setup の 12 のファンクションがあります。これらの中で Edit Track は、オーディオ CD から好きな曲を選んで編集するための特別な機能です。

3.1. コピー

Copy は、ソース(元ディスク/ イメージ) から、ターゲットドライブ(書き込みドライブ) に、インスタントコピーを行う機能です。コピーの前に、ソースDVD が読み込みドライブにセットされているか、またはハードディスクを使用している場合は特定のパーティションにデータが入っているか確認してください。コピー前にコピー可能か確認したい場合、3.2.テスト を使用してください。

1.Copy を選択し、読み込みドライブにソースDVD をセットし、書き込みドライブには空のメディアをセットしてください。すでにデータが入っているリライタブルDVD も使用可能です(データは自動的に消去されます) 。

1.Copy

読み込みドライブと書き込みドライブがそれぞれDVD を検出したら、決定ボタンを押してコピーを開始します。LCD は下記のようにコピー情報を表示します。

Copying-DVD	0%
4213.4MB	7:30

コピー中は、コピー完了率が上昇、”MB” と残り時間の値は減少していきます。”MB” は現在コピーしようとしているデータ量を示します。

コピーが完了すると、LCD にはコピー結果が表示され、コピーが終了したDVD は自動的に取り出されます。

1.Copy
OK：07

3.2. テスト

Test はデュプリケート機能のシミュレーションをする機能です。メディアへのデータ書き込みは行われません。

2.Test を選択し、読み込みドライブにソースDVD をセットし、書き込みドライブには空のメディアをセットします。なお、テスト機能が利用可能なのは、DVD-R 規格のディスクのみです。

2.Test

決定ボタンを押して、シミュレーションを開始します。データの入っている DVD リライタブルディスクを使用している場合、LCD に下記のように表示され、データは自動的に消去されます。

Erasing disc

LCD にはテストの情報が表示されます。

Testing-DVD	**0%**
4213.4MB	**7:30**

テストが終了すると、以下のようにテスト結果が表示されます。

2.Test
OK: 07

テスト中にテストを停止しても、DVD には影響ありませんが、データの入っているリライタブルディスクを使用している場合、データは破損します。

3.3. テスト＆コピー

Test＆ Copy は、最初にテストを行った後、実際のコピーを行います。

3.Test & Cop y を選択し、読み込みドライブにソース DVD をセットし、書き込みドライブには空のメディアをセットします。

```
3.Test & Copy
```

決定ボタンを押して、シミュレーションを開始します。LCD には以下のようにテストの情報が表示されます。

```
Testing-DVD      0%
4213.4MB       7:30
```

テストが終了すると、実際のコピーが始まり、LCD には以下のように表示されます。

```
Copying-DVD      0%
4213.4 MB      7:30
```

すべてのプロセスが終了すると、LCD には以下のように結果が表示されます。

```
3.Test & Copy
OK：07
```

注:テストにパスしたディスクはすぐにコピーが開始され、テストにパスしなかったディスクにはコピーが行われません。

3.4. ベリファイ

Verify は、CD・DVD に書き込まれたデータを検証する機能です。

4.Verify を選択します。

4.Verify

決定ボタンを押すと検証が開始されます。LCD は以下のような表示になります。

Verify-DVD	**0%**
4213.4MB	**7:30**

検証が終了すると、以下のように結果が表示されます。

4.Verify
OK： 07

3.5. コンペア

Compare は、コピー終了後に、ソースDVD とターゲットDVD 間で比較を行い、同一の内容かどうか確認する機能です。

5.Compare を選択し、読み込みドライブにソースDVD をセットし、書き込みドライブには空のメディアをセットします。

5.Compare

決定ボタンを押すとコンペアが始まり、LCD にはコンペアの情報が表示されます。

```
Compare-DVD   0%
4213.4MB        7:30
```

コンペアが終了すると、LCD には結果が表示されます。

```
Compare      OK:7
Fail: 0         Diff: 0
```

決定ボタンを押すと、ソース 1 の詳細が表示されます。

```
Src:02    DVD-RW
Identical
```

コンペアに失敗すると、LCD には失敗された旨が表示されます。決定ボタンを 2 回押すと、LCD にはソース 1 とソース 2 で内容が一致しない旨が表示されます。

```
Src:02    DVD-RW
TOC not match
```

3.6. プリスキャン

Prescan は、ソースドライブが正しく読み込み可能かを検査し、それによって読み込み速度のテストを行う機能です。

6.Prescan を選択し、読み込みドライブにソース DVD をセットします。

6.Prescan

決定ボタンを押すとプリスキャンが始まり、LCD にはスキャンの情報が表示されます。

Scaning-DVD	0%
4213.4MB	7:30

スキャンが終了し、ソース DVD が正常に読み込みできる場合、LCD には結果が表示されます。

PreScan OK!

3.7. ディスク情報

Disc Info は、ソースディスクに関する簡易レポートを表示する機能です。

7.Disc Info を選択し、ソース DVD を読み込みドライブにセットしてください。

7.Disc Info

決定ボタンを押すと、LCD に以下のような DVD 情報が表示されます。

Disc Type:DVD-ROM	
4213.4MB	7:30

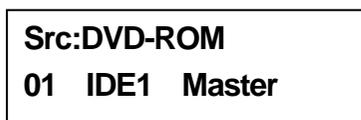
3.8. ソース選択

Select Source は、ソースとなるドライブを選択する機能です。

8.Select Source を選択します。

8.Select Source

決定ボタンを押し、▲▼ボタンを押して下記画面のようにソースドライブを選択します。

Src:DVD-ROM
01 IDE1 Master

ソースとなるドライブを決めたら、決定ボタンを押すと、以下のようにソースドライブが設定されます。

DVD-ROM selected

HDDをソースとして選択し、任意のパーティションからコピーしようとした際、そのパーティションにデータがない場合、LCD にはエラーメッセージが表示されます。このとき、データの入っている別パーティションに切り替えるか、3.9.イメージを使用して空のパーティションにイメージを作成することができます。

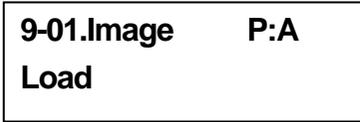
3.9. イメージ

Image は、デュプリケータにハードディスクを接続時のみ使用可能です。Image には、以下の 7 個のサブ機能があります: Load 、Delete Image 、Image Info 、Compare Image 、Select Image 、Select Source Drive 、Image Format Info ソースとなる DVD から HDD に作成したデータは"イメージ(Image)" と呼ばれます。

最初に 9. Image を選択します。

9.Image

3.9.1. 読み込み

決定ボタンを押すと、以下のような画面になります。ここでは、ソースドライブとして設定したドライブから、現在のパーティションにデータを読み込ませることができます。LCD の" P:A " という表示は、現在パーティション A に入っていることを意味します。

9-01.Image	P:A
Load	

決定ボタンを押すと、読み込み(Load) が始まります。LCD にはローディング中の情報が表示されます。

Load- A - DVD	0%
4213.4MB	7:30

イメージファイルのロードに成功すると、LCD には以下のように結果が表示されます。

Image load OK

現在のパーティションにすでにイメージファイルが存在している場合、システムは上書きしてよいか確認を求めます。▲▼ボタンで Yes/No を決定します。

Image Exists
Overwrite? Yes

3.9.2. イメージの消去

任意のパーティションに存在するイメージファイルを消去したい場合、イメージの消去(Delete Image) の機能を使用します。▼ボタンを押して 9.2 を選択します。

9-02.Image P:A
Delete Image

システムは本当にイメージを消去して良いか確認を求めます。▲▼ボタンでYes/Noを決定します。

Delete Image ?　Yes
A:Untitled!!

イメージファイルが消去されると、LCD には結果が表示されます。

Partition A:
Image is deleted

3.9.3. イメージ情報

この機能では、任意のパーティションに存在するイメージの基本的情報を取得します。▼ボタンを押して、9.3 を選択します。

```
9-03.Image      P:A
Image Info
```

決定ボタンを押すと、現在のパーティションに存在するイメージの情報が以下のように表示されます。

```
Img Type:DVD+R
Capacity:4213.4MB
```

3.9.4. イメージのコンペア

この機能で、ソース DVD の内容と、現在パーティションに存在するイメージの内容を比較検証します。▼ボタンを押して、9.4 を選択します。

```
9-04.Image      P:A
Compare Image
```

決定ボタンを押すと、LCD には以下のようにイメージファイルの情報が表示されます。

```
Com-A-DVD   0%
4213.4MB      7:30
```

コンペア(比較検証) が終了すると、LCD には結果が表示されます。

Compare OK:1
Fail:0 Diff:0

その後、決定ボタンを押すと、以下のようにソースの情報が表示されます。

Src:01 SUPER MUL
Total: 4213.4MB

さらに決定ボタンを押すと、ターゲットとなるパーティションの詳細情報が表示され、比較検証に成功していれば、以下のように「同一(Identical)」の表示がされます。

Tgt:00 HDD P:A
Identical

比較検証に失敗した場合、LCD にはその旨が表示されます。決定ボタンを 2 回押すと、LCD にはソースとターゲットが一致しなかった旨が表示されます。

Tgt:00 HDD P:A
TOC not match

3.9.5. イメージの選択

この機能で、ハードディスク内のパーティションを選択します。▼ボタンを押して、9.5 を選択します。

9-05.Image P:A
Select Image

HDD を接続すると、コピーコントローラは自動的に HDD をフォーマットします。各パーティションサイズは 5GB として区切られます。パーティションの数はお使いの HDD 容量に依存します。各パーティションにはアルファベットでパーティションレターが割り振られます。▲▼ボタンを押して、パーティションを選択すると、LCD は以下のような表示になります。

Select Partition A:DVD 4213.4MB

パーティションが選択されると、LCD は以下のような表示になります。

Set Partition to A

3.9.6. イメージ元ドライブの設定

この機能は任意のパーティションにイメージを読み込む際に使用するドライブを指定する機能です。▼ ボタンを押して、9.6 を選択します。

9-06.Image P:A Image Src Drive

次に、▲▼ボタンを使って、ソースとして指定するドライブを選択します。

Select Img Src: 01 IDE1 DVD-ROM

ソースとなるドライブを指定すると、LCDには以下のように表示されます。

Load image from Drive ID-01

3.9.7. イメージ形式の情報

この機能で、HDD がどのようにフォーマットされているか確認することができます。この機能は、3.12.4.HDD のフォーマット と関連します。3 通りのフォーマット方法が選択可能です：CD・DVD 、DL(Double Layer 、2 層式DVD)

▼ ボタンを押して、9.7 を選択します。

9-07. Image P:A Image Format Info

決定ボタンを押すと、以下のようにLCD に表示されます。" Auto" はDVD 向けにHDD がフォーマットされた状態です。

Image Format Info Auto

3.9.8. タイトル編集

この機能で、任意のパーティションに名前をつけることができます(ただし、イメージファイルがタイトル変更可能な場合のみ) 。はじめに▼ボタンを押して、9.8 を選択します。

9-08. Image P:A Edit

決定ボタンを押します。タイトルは最大13 文字までとなります。使用可能な文字はアルファベットと数字のみです。▲▼ボタンで数字とアルファベットを選択し、決定ボタンで入力します。

Edit Title ?

タイトルの入力を終え、決定ボタンを押すと、以下のような表示となります。

Edit Sub1 Title
?

Sub1 Title ではサブタイトルをつけることができます。もう一度決定ボタンを押すと、サブタイトル 2 をつけることができます。タイトルの編集が完了すると、以下の画面が表示されます。

Edit Sub1 Title
?

3.10. エディットトラック（CD 使用時のみ)

Edit T rack はオーディオ CD からお気に入りの音楽を編集することに特化した機能です。つまり、個々のオーディオ CD からお好みの曲を選び、ひとつの CD に収録することのできる機能です。この機能には 4 つのサブメニューがあります: CD to CD 、CD to HDD 、Play Audio Track 、Close Session 。

▼ ボタンを押して、10.Edit Track を選択します。

10.Edit Track

3.10.1. CD to CD エディット

決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。CD to CD Edit の機能では、CD から好きな曲を選び、空の CD にコピーすることができます。

10-01.Edit Track
CD to CD Edit

もう一度決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。"1 /10" の表示は、10 トラック中の一曲目という意味です。また、" 3:25" のような表示はトラックの再生時間です。

```
Select Track:
1/10      03:25
```

▼ ボタンでトラックの移動が可能です。収録したい曲を決めたら決定ボタンを押します。トラックナンバーの横に"+" が表示され、曲が選択されたことを示します。この状態でもう一度決定ボタンを押すと、" +" が消え、選択が解除されます。

```
Select Track:
+1/10      03:25
```

曲の選択を終えたら、▲ボタンで End に合わせます。

```
Select Track:
End   1Trk03:25
```

決定ボタンを押すと、CD 編集を終了し、▲▼ボタンで書き込みを開始するかどうか選択します。

```
End edit disc
and burn? Yes
```

LCD にはコピーの状態が表示されます。

```
Copying-24X Edit
1/10 - > 1/1
```

“1/ 1” のような表示は、選択された曲数のうち現在何曲目のコピーが進行中かを意味しています。コピーが終了すると、LCD には以下のように表示されます。

```
Burn Complete!
OK: 07
```

システムは編集を続行するか確認を求めます。▲▼ボタンで Yes/No を選択します。

```
Continue edit
next Disc? Yes
```

編集を続行する場合、ソースドライブのトレイが自動的に開き、システムは次に使用したい CD をセットするよう表示します。

```
Insert next disc
```

次に使用する CD をセットし、決定ボタンを押して同様に編集を行います。

```
Select Track:
+2/10      04:25
```

曲の選択を終えたら、▲ボタンで End に合わせます。

```
Select Track:
End    1Trk04:25
```

決定ボタンを押すと、CD 編集を終了し、▲▼ボタンで書き込みを開始するかどうか選択します。

End edit disc
and burn? Yes

LCD にはコピーの状態が表示されます。

Copying- 24X Edit
2/10 - > 2/2

1 枚目と同様にコピーが行われます。

Burn Complete!
OK: 07

コピー終了後、編集を続けるか確認を求められるので、編集を終える場合は、"No" を選択します。

Continue edit
next Disc? No

セッションを終了するか確認を求められるので、" Yes" を選択します。

Closing Session
Please wait···

終了すると、LCD には以下のように表示されます。

Closing session
OK:10

3.10.2. CD to HDD エディット

▼ ボタンを押して、10.2.Edit Track を選択します。ここでは、オーディオCD からお好みの曲をHDD の任意のパーティションにコピーできます。

10-02. Edit Track
CD to HDD Edit

決定ボタンを押すと、以下のように表示されます。" 1/ 10" は 10 トラック中の 1 曲目であることを意味します。"03:25" のような表示は再生時間です。

Select Track:
1/10　　03:25

1 曲目を収録したい場合、決定ボタンを押すと、トラックナンバーの横に"+" が表示され、1 曲目が選択されたことを示します。この状態でもう一度決定ボタンを押すと、"+" の表示が消え、選択が解除されます。

Select Track:
+1/10　　03:25

収録したい曲を選んだら、▲ボタンで"End" メニューに合わせます。

Select Track:
End 1Trk 03:25

決定ボタンを押すと、編集を終了してコピーを開始するか確認を求められるので、▲▼ボタンで Yes/No を選択します。

End edit disc
And burn? Yes

選択した曲がイメージファイルとして HDD に読み込まれます。LCD は読み込みの状態を以下のように表示します。

```
Load- P0 -24X Edit
1/10 - >   1/1
```

読み込みが終わると、以下のようなメッセージが表示されます。

```
Image load OK
```

システムは編集を続けるか確認を求めるので、▲▼ボタンで Yes/No を選択します。

```
Continue edit
next Disc? Yes
```

編集を続けたい場合、現在のソース CD は自動的に取り出されます。システムは次に使用するディスクを入れるよう求めます。

```
Insert next disc
```

次に使用する CD をセットし、決定ボタンを押します。2 曲目を収録したい場合、2 曲目に合わせ、決定ボタンを押します。トラックナンバーの横に"+" が表示され、選択されたことを示します。

```
Select Track:
+2/10      04:25
```

選択が終了したら、▲ボタンで"End" メニューに合わせます。

Select Track:
End　1Trk 04:25

決定ボタンを押して CD 編集を終え、▲▼ボタンで Yes/No を選択します。

End edit disc
and burn? Yes

選択したトラックが、イメージファイルとして HDD にコピーされます。LCD には読み込みの状態が以下のように表示されます。

Load- P0 -24X Edit
2/10 - >　2/2

読み込みが終わると、LCD には以下のように表示されます。

Image load OK

システムは編集を続行するか確認を求めます。終了する場合、▼ボタンで No を選択します。

Continue edit
next Disc? No

システムは HDD のイメージから CD-R/RW に書き込むか、または別パーティションにコピーするか確認を求めます。▲ボタンを押し、書き込み(Burn) を選択します。

Burn or Move to
Partition? Burn

決定ボタンを押すと、HDD に読み込まれたイメージから、CD-R/RW に書き込みが行われます。

```
Copy- P0 -24X    0%
1/2 Trk03:25
```

書き込みが終了すると、LCD には結果が表示されます。

```
Burn Complete!
OK: 07
```

別パーティションに読み込んだイメージを移動したい場合、キャンセルボタンでひとつ前に戻って、▼ボタンを押して"Move" を選択します。

```
Burn or Move to
Partition? Move
```

▼ ボタンを押して、イメージを移動させる先のパーティションを選択します。ここでは、"A" に移動させることにします。

```
Select Partition
A
```

決定ボタンを押すと、LCD には移動の状態が表示されます。

```
Moving to P:A
0%
```

転移動が終了すると、LCD には結果が表示されます。

```
Moving to P:A
OK!
```

移動の際、選択したパーティションにすでにデータが存在する場合、上書きして良いか確認を求められます。▲ボタンを押して上書きを決定します。

```
Image Exists
Overwrite? Yes
```

決定ボタンを押すと、移動が始まり、LCD には情報が表示されます。

```
Moving to P:A
0%
```

移動が終了すると、LCD には結果が表示されます。

```
Moving to P:A
OK!
```

3.10.3. オーディオトラックの再生(本機には装備されていません)

3.10.4. セッションの終了

この機能で CD の書き込みセッションを終了し、それ以上データが書き込みできないようにします。セッションを終了した CD は、通常のプレーヤーで再生し、音楽を聴くことができます。

▼ ボタンで、10.4. Edit Track を選択します。

```
10-04. Edit Track
Close Session
```

決定ボタンを押すと、セッションを終了して良い確認を求められます。

Close all disc's **Session? Yes**

Yes に合わせて決定ボタンを押すと、LCD には以下のように表示されます。

Closing Session **Please wait･･･**

完了すると、LCD には以下のように表示されます。

Closing Complete **OK:7 Fail:0**

3.11. セットアップ

"Setup" メニューでは、初期設定の変更が可能です。設定を変更する場合、決定ボタンで設定を保存することを忘れずに行ってください。通常使用では、初期設定を変更せず使用することをお勧めします。"Setup" メニューには、21 個のサブ機能が存在します；Language、CD Burn Speed、DVD Burn Speed、Read Speed、Auto Start Drive、Startup Menu、Auto Verify、Auto Compare、Auto Prescan、Eject Disc、Burn On The Fly、Burn Mode、Display Time、Button Sound、Device Info、System Info、Quick Erase、Full Erase、Auto Close Tray、Quick Compare、Audio Burn Speed 。

11.Setup を選びます。

11.Setup

3.11.1. 言語設定

決定ボタンを押すと、以下のような画面になります。言語設定メニューでは、LCD に表示されるメッセージの言語が変更できます。

11-01.Setup Language

さらに決定ボタンを押すと以下のような画面になり、言語の変更ができます。選択できる言語は以下の通りです(機種により異なるので、お好みの言語が選択できない場合もあります) 。; 英語、スペイン語、日本語、中国語(繁体) 、中国語(簡体) 。

Language English

3.11.2. CD 書き込み速度設定

▼ ボタンで 11.2. Setup に移動します。この機能では CD 書き込みの速度を設定できます。

11-02.Setup CD Burn Speed

決定ボタンを押すと以下のような画面になります。書き込み速度は初期状態で"Auto" に設定されています。

CD Bunn Speed Auto

3.11.3. DVD 書き込み速度設定

▼ ボタンでメニュー11.3. Setup に移動します。この機能では DVD の書き込み速度を設定できます。

11-03. Setup DVD Burn Speed

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。書き込み速度は初期状態で"Maximum(最大)" に設定されています。

DVD Burn Speed Maximum

3.11.4. 読み込み速度設定

▼ ボタンを押して 11.4. Setup に移動します。この機能ではターゲット CD ドライブの読み込み速度を指定できます。

11-04. Setup Read Speed

決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。初期状態では"Maximum(最大)" に設定されていますが、以下の速度に指定することもできます; 32 X 、16X 、8X 。

Read Speed Maximum

3.11.5. 自動スタートさせるドライブの設定

▼ ボタンで 11.5. Setup を選択します。自動スタートに指定したドライブは空のメディアを挿入すると自動的にコピーまたはテストを開始します。

11-05. Setup Auto Start Drive

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。初期状態では、設定は”OFF” になっています。

Auto Start Drive Off

3.11.6. スタートアップメニューの設定

▼ボタンで 11.6. Setupを選択します。スタートアップメニューでは起動時にどのメニューを表示させるか設定できます。

11-06. Setup Startup Menu

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。初期設定では”Copy” になっています。他のメニューをスタートアップメニューとして設定することも可能です。その場合、▲▼ボタンと決定ボタンを使って設定します。

Startup Menu 1.Copy

3.11.7. 自動ベリファイ機能

▼ ボタンで 11.7. S etup を選択します。自動ベリファイは、コピーの終了後、自動的にベリファイを行う機能です。

11-07. Setup Auto Verify

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。初期設定では自動ベリファイは無効になっています。▼ボタンで有効/ 無効の切り替えが可能です。

Auto Verify Off

3.11.8. 自動コンペア設定

▼ ボタンで 11.8. Se tup を選択します。自動コンペア機能は、コピーの終了後、ソース DVD とターゲット DVD の内容を自動的に比較検証する機能です。

11-08. Setup Auto Compare

決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。初期状態では、自動コンペアは無効になっています。▼ボタンで有効/ 無効の切り替えが可能です。

Auto Compare Off

3.11.9. 自動プリスキャンの設定

▼ボタンで 11.9. S etup を選択します。自動プリスキャン機能は、ソース DVD が読み込み可能になったら、自動的にスキャンを行い、同時に読み込み速度のテストを行う機能です。

11-09. Setup Auto Prescan

決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。初期状態では自動プリスキャンは無効に設定されています。▼ボタンで有効/ 無効の切り替えが可能です。

Auto Prescan Off

3.11.10. ディスク取り出し設定

▼ボタンで 11.10. S etup を選択します。"Eject Disc "には 3 通りの設定があります。すなわち、"Eject GoodOnly"、"Eject All Disc"、"Do not Eject"の 3 つです。Eject Good Only の設定では、コピー終了後、コピーが成功したディスクのみを取り出します。Eject All Disc の設定では、コピー終了後、コピーの成否に関わらずすべてのディスクを取り出します。Do No t Eject の設定では、コピー終了後、手動でトレイを開いて取り出す必要があります。

11-10. Setup Eject Disc

決定ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。▼ボタンで設定の変更ができます。

Eject Disc Eject Good Only

3.11.11. 直接コピーの設定

▼ ボタンで 11.11. Setup を選択します。Burn On The Fly 設定により、コピーの方法を設定できます。Burn On The Fly を"On(有効)" に設定すると、ソース DVD からターゲット DVD へ直接コピーが行われます。"Off(無効)" に設定すると、一度 HDD のパーティション内にイメージとして読み込まれ、その後コピーが行われます。

11-11. Setup **Burn On The Fly**

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。▼ボタンで、有効/ 無効の設定を行います。

Burn On The Fly **On**

3.11.12. 書き込みモード

▼ボタンで 11.12. Setup を選択します。"Burn Mode"の設定では、書き込みのモード変更を行うことができます。2 つのモードが選択できます；DAO(Disc At Once)、TAO(Track At Once)。これらのモード切替は、CD コピー時のみ有効です。DVD コピー時に、誤った設定になっていると、コピーコントローラは自動的に正しい設定に切り替わります。

11-12. Setup **Burn Mode**

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。初期状態では DAO モードに設定されています。▼ボタンで TAO モードに変更できます。

Burn Mode **DAO**

3.11.13. 時間表示設定

▼ボタンで 11.13. Setup を選択します。コピー時に残り時間の表示を行うか設定が可能です。

11-13. Setup Display Time

決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。初期状態では有効に設定されています。▼ボタンを押して、有効/ 無効の切り替えが可能です。

Display Time On

3.11.14. ボタン音の設定

▼ ボタンで 11.14. Setup を選択します。操作音の設定を行うことができます。

11-14. Setup Button Sound

決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。初期状態では、"On" に設定されています。▼ボタンで"Off" に設定できます。

Button Sound On

3.11.15. デバイス情報

▼ ボタンで 11.15. Setup を選択します。デバイス情報では、接続されている光学ドライブの情報を表示できます。

```
11-15. Setup
Device Info
```

決定ボタンと ▼ ボタンで、以下のような画面が表示されます。

```
01 CH01
S-MULTI:ATAPI
```

さらに決定ボタンを押すと、以下のように画面が遷移していきます。

```
iHAS322　8
3L11
```

3.11.16. システム情報

▼ ボタンで 11.16. Set up を選択します。システム情報ではコピーコントローラのシステム情報を表示します。

```
11-16. Setup
System Info
```

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。

```
2057B　ver:1.17V
2008/05/30　ACARD
```

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。

core　ver:0.64
2008/05/30

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。

CopyAp ver:0.64
2008/05/30

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。

BD/DVD Dup1.
DDR Memory. 64MB

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。

UI　ver:0.64
2008/05/30

3.11.17. クイック消去

▼ ボタンを押して 11.17. Setup を選択します。Quick Erase(クイック消去) では DVD リライタブルディスクのデータを高速で消去します。

11-17. Setup
Quick Erase

決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。▲▼ボタンで消去の可否を選択します。

```
All data will be
lost, erase? Yes
```

“Yes” を選択し、決定ボタンを押すと、消去が開始され、LCD には以下のような画面が表示されます。

```
Erasing disc
00:25 (Quick)
```

消去が終了すると、LCD には以下のような画面が表示されます。

```
Quick Erase
OK:10
```

3.11.18. 全消去

▼ ボタンを押して、11.18. S etup を選択します。Full Er ase(全消去) を行うと、DVD リライタブルディスクに書き込まれたデータを完全に消去します。クイック消去に比べて、全消去は長時間を要します。

```
11-18. Setup
Full Erase
```

決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。▲▼ボタンで消去の可否を選択します。

```
All data will be
lost, erase?Yes
```

Yes を選択し、決定ボタンを押すと、LCD には以下のようなメッセージが表示されます。

```
Erasing disc
45:00 (Full)
```

消去が終了すると、LCD には以下のような画面が表示されます。

```
Full Erase
OK:10
```

3.11.19. 自動トレイクローズ設定

▼ ボタンで11.19. Setup を選択します。自動トレイクローズ機能は、書き込みドライブのトレイを自動的に閉じる機能です。この機能は3.11.5 .Auto Start Drive と関連する機能です。3.11.5. で自動コピー機能を有効にしたドライブを指定していない場合、本機能は利用できません。

```
11-19. Setup
Auto Close Tray
```

決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。

```
Auto Close Tray
5
```

この画面での"5" は、コピーが終了し、自動的にトレイが開いたあと、5 秒後に自動的にトレイを閉じる設定を意味しています。時間は、5 秒以外に、10,15,20,25,30,35,40,45,50 秒が選択可能です。仮に、設定3.11.5. でドライブを指定し、本機能を10 秒に設定した場合、そのドライブはコピー終了後10 秒経過すると自動的にトレイを閉じます。

3.11.20. クイックコンペア

▼ ボタンで11.20. Setup を選択します。クイックコンペアは、機能5. コンペアと関連する機能です。本機能では、エラーの許容量をバイト単位で指定します。ターゲットDVD に、指定したバイト数を超えるエラーが起きた場合、そのドライブについては、コンペア作業を停止させます。残りのドライブについては引き続きコンペアを実行します。

```
11-20. Setup
Quick Compare
```

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。初期状態では、クイックコンペアはOff(無効) になっています。三角ボタンと決定ボタンで、エラーの許容量を指定します(1 Byte,1 KB, 10 KB,100 KB,1MB といった形式です。)

```
Quick Compare
Off
```

3.11.21. オーディオ CD 書き込み速度

▼ ボタンで11.21. Setup を選択します。Audio Burn Speed(オーディオCD 書き込み速度)の設定で、オーディオCD の書き込み速度を指定できます。

```
11-21. Setup
Audio Burn Speed
```

決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。所期状態では、auto(自動) に設定されています。オプションとして、最大,40X,32X,24X,20X などから、任意に書き込み速度を設定可能です。

```
Audio Burn Speed
Auto
```

3.12. USB モード

ファンクション 12 の USB モードでは、本機の一番上（CH 01）のドライブが USB インターフェースのドライブとして PC からアクセスできます。

12. USB Mode

USB モードをオンにするには **ENT** で次のように表示されるので **ENT** でオン（On)）にします。

USB Mode Switch
to On ？Yes

リブートが行われ USB モードとなります。

USB モードをオフにするには **ENT** で次のように表示されるので **ENT** でオフ（Off)）にします。

USB Mode Switch
to Off ？Yes

リブートが行われコピーモードに戻ります。

3.13. アドバンストセットアップ

ファンクション 13 のアドバンストセットアップは UnderRun Pro tect、OverBurn、Read Er ror Skip、Format HDD 、Verify HDD 、Burn-inn、Update Fir mware、Compare Firmware、H/W Diagnostic、Load Default、CD+G、ISRC & Mcn、Switch USB Mode の 13 の部分からなります。

アドバンストセットアップに入るには、まず **ESC** と ▲▼ でファンクション 11 に戻ります。そして **ESC** を 2 秒間押し続けると次(3.13.1.)のように表示されます。

3.13.1. アンダーランプロテクト

▼ ボタンで 13.1. Adv Setup を選択します。アンダーランプロテクトは、Burn Proof(バーンプルーフ), Safe Bu rn(セーフバーン), JustLink(ジャストリンク), Seamless L ink(シームレスリンク)などとよばれるバッファアンダーラン保護機能をオンオフします。

13-01. Adv Setup **UnderRun Protect**

デフォルトはオン(On)です。**ENT** で次のように表示されるので変更する場合は ▲ でオフ(Off))にします。

UnderRun Protect **On**

3.13.2. オーバーバーン

CD の記録可能領域のリミットを越えて書き込むかどうかを指定します。上の表示のときに **ESC** と ▼ で次の表示にもっていきます。

13-02. Adv Setup Overburn

ENT で次のように表示されます。デフォルトはオフ(Off)ですので変更する場合は ▼ でオン(On)にします。

Overburn Off

3.13.3. リードエラースキップ

コピー中に読み取りエラーなど、何が起こっても無視してコピーを続行します。
通常、コピー中に読み取りエラーなどが起こると LCD に表示が出て、コピーは中断されますが、このリードエラースキップを使用することにより、欠陥のある DVD をコピーすることができます。
上の表示の場合、**ESC** と ▼ で次の表示にもっていきます。

13-03. Adv Setup Read Error Skip

ENT で次のように表示されます。デフォルトはオフ（Off）です。変更する場合は ▼ でオン（On）にします

Read Error Skip Off

3.13.4. フォーマットハードディスク

ハードディスクのデータをすべて消去してフォーマットし、パーティションを作成します。**ESC** と ▼ で次の表示にもっていきます。

13-04. Adv Setup
Format HDD

ENT で次のように表示されます。DVD の場合、パーティションは 5GB ずつとられ、CD は 1GB です。

HD Partition
FormatSelect? DVD

3.13.5. ハードディスクの検証

ベリファイハードディスクはハードディスクおよびそのパーティションがどれも使用可能であることを検証します。上の表示の場合、**ESC** でファンクション 12 にもどり、▼ でファンクション 5 を選択します。

13-05. Adv Setup
Verify HDD

ENT で次のように表示されるので、 ▼ ▲ でディスクかパーティションかを確認します。

Verify Disk or
Partition? Disk

ENT で検査が行われ、終了すると結果が次のように表示されます。

Verify Hard Disk
OK!

3.13.6. 模擬動作

バーンインは模擬動作を何回も繰り返します。回数の指定は 1 から 1000 までです。それぞれのサイクルが終了すると、DVD ライタの DVD は自動的にイジェクトされます。
ESC と ▼ で次の表示にもっていきます。

13-06. Adv Setup **Burn-in**

ENT で次のように表示されます。テスト(Test)は単純な模擬書き込みです。

Burn-in **Test**

ENT と ▼ ▲ で模擬動作の回数を 1, 2, 3 . . . 1000 または連続(Continuous) と選択します。

Sel burn-in num: **Run Continuous**

ESC, **ENT**, ▼ で、イレーズ&コピー (Erase&Copy) を選択すると次のように表示されます。イレーズ&コピーはリライタブルディスクに対する書き込みと消去をくり返し行います。

Burn-in **Erase&Copy**

ENT と ▼ ▲ で模擬動作の回数を 1, 2, 3 . . . 1000 または連続(Continuous) と選択します。

Sel burn-in num: **Run Continuous**

3.13.7. 最新版ファームウェアの入手

ファームウェアを最新のものにアップデートします。まず最新のバージョンを入手します。
ESC と ▼ で次のように表示されます。

13-07. Adv Setup **Update Firmware**

ACARD 社のホームページ: http://www.acard.com から”cdxxx.bin”をダウンロードし、解凍して DVD にコピーします。DVD を DVD-ROM にセットして **ENT** を押すと新しいファームウェアを探しにいき、探し当てた場合は LCD に次のように表示されます。

Searching F/W… **XXX/XXXXX**

3.13.8. ファームウェアの比較

現在のファームウェアとダウンロードしたバージョンを比較し、ダウンロードしたバージョンが新しいものであることを確認します。
ESC と ▼ で次のように表示されます。

13-08. Adv Setup **Compare Firmware**

3.13.9. ハードウェア自己診断

ENT で次のように表示され、本機の自己診断を行います。

13-09. Adv Setup
H/W Diagnostic

ENT で、まず LCD のテストからはじまり、押しボタン、SDRAM、機器の接続、そしてフラッシュのテストを行います。テストの結果はLCDに次のように表示されます。これは本機が正常に動作することを確認する最も簡単な方法です。

LCD Test Start

すべてのテストが終了すると、LCD には次のように表示されます。

Test finished

3.13.10. ロードデフォルト

すべての設定をデフォルトに戻します。 **ESC** と ▼ で次の表示にもっていきます。

12-10. Adv Setup
Load Default

ENT で次のように表示されるので ▲ ▼ で実行可否を確認します。

Load Default
Config? Yes

デフォルト値のロードが終わると結果が次のように表示されます。

Load Default
OK

3.13.11. CD+G

CD+G の特別なコピーフォーマットをサポートします。 **ESC** と ▼ で次の表示にもっていきます。

13-11. Adv Setup **CD+G**

ENT で次のように表示されるので ▼ でサポートオンにする場合は変更します。
デフォルトはオフ(Off)です。

CD+G **Off**

3.13.12. ISRC & MCN

ISRC と MCN という特別なコピーフォーマットをサポートします。 **ESC** と ▼ で次の表示にもっていきます。

13-12. Adv Setup **ISRC & MCN**

ENT で次のように表示されるので ISRC もしくは MCN をサポートする場合は ▼ でオン（On）にします。デフォルトはオフ(Off)です。

ISRC & MCN **Off**

3.13.13. USB オプション

USB オプションの有無を指定します。本機には標準で USB オプションが装備されているので通常この操作は必要ありません。

ESC と ▼ で次の表示にもっていきます。

13-13.Adv Setup **USB Option**

ENT を押すと次のように表示されますので▲ でオンオフを選択して **ENT** します。

USB Option **On?** または **Off?**

Back to SA-Mode？ **YES**

3.13.14. CD テキスト

CD-TEXT 形式の特殊なフォーマットで作成された CD をコピーします。

ESC と ▼ で次の表示にもっていきます。

13-14.Adv Setup **CD-TEXT**

デフォルトは Off ですが ▼ で交互に On、Off と切り替わります。

CD-TEXT Off

3.13.15. マルチセッション DVD

マルチセッション形式で作成されているソース（マスター）をコピーする場合に使用します。

ESC と ▼ で次の表示にもっていきます。

13-15.Adv Setup MultiSession DVD

ここで **ENT** を押すとデフォルトで On となります（▼ で On ,Off を選択します)。

MultiSession DVD On

4. トラブルシューティング

4.1. LCD 関連

電源を入れてもに LCD に何も表示されない場合、電源コードが接続されているかを確認してください。

4.2. エラーメッセージ関連

コピー、テスト、コンペア、ベリファイなどを行っている際にキャンセルボタンで途中停止すると、エラーメッセージが LCD に表示されます。このときまれにコピーコントローラがハングアップする場合がありますが、その場合は再起動を行ってください。
読み込みに失敗した場合も、LCD にエラーメッセージが表示されます。この場合、別のソース DVD をご用意ください。
また、コピーコントローラ起動時にデバイスが検出されない場合にも LCD にエラーが表示されます。

4.3. DVD-ROM/DVD ライタ関連

ドライブが読み込めない場合、ソース DVD の形式と、ディスクに傷がついていないか確認してください。

4.4. ボタン関連

コピーコントローラ前面のボタンを押しても反応しない場合、そのボタンがジャンパで無効にされている場合があります。ジャンパを確認してください（ジャンパの設定は機種毎のマニュアルを確認してください）。

4.5. コピーしたディスクが読み込めない場合

コピーしたディスクが読み込めない場合、コンペア機能を使って比較検証してみてください。またメディアを交換して試してみてください。

4.6. 頻繁にコピーに失敗する場合

このような場合、以下の点を確認してください。

- DVD ライターの書き込み速度を下げる
- コピー用の空メディアの品質に問題がないか確認する
- ファームウェアのアップデート
- DVD ライターの最大書き込み速度を確認し、8X を超えるような場合、いったん HDD にイメージを作成してからコピーを行う。

4.7. ファームウェア アップデート

ファームウェアのアップデートがうまくいかない場合、適切なファームウェアをダウンロードしているか確認してください。
誤ったファームウェアを適用してしまうと、コピーコントローラが起動しなくなります。この場合、販売代理店にコピーコントローラの修理を依頼してください。

4.8. ファンクション 12 と取り消しについて

ファンクション 12 のアドバンストセットアップを実行する場合は **ESC** を 2 秒間押し続けてください。またコピー、テスト、ベリファイなどのファンクション操作中に取り消したい場合も同様に **ESC** を 2 秒間押してください。

付録　LCDメッセージ

1. 通常の状態

1. 通常表示されるメッセージ

All data will be lost, erase?...........ディスクのデータがすべて消去されます。確認してください。

Analyzing.. ソースディスクの分析中。

Audio Disc!!! Can't compare!.......... オーディオディスクではコンペア機能は利用できません。

Cannot read TOC..ディスクの内容を読み込むことができません。

Check Target Please Wait .... ターゲットデバイスをチェック中。

Detect Drives... 接続されているドライブを検出中。

DVD-RW does not Support the Func.....................DVD-RW はこの機能をサポートしません。

Erase Finished... データの消去が完了しました。

Erasing disc... ディスク上のデータを消去しています。

Fail to get Drive Info!.. ドライブの情報が取得できません。

Fail to get Src Disc Info!... ソースディスクの情報が取得できません。

Hold ESC to exit................. テストを終了させるには、キャンセルボタンを押し続けてください。

Identical............................... コンペアの結果、内容が同一でした(コンペアに成功しました) 。

Initialize SDRAM... システムのメモリを初期化しています。

Load Default Config?... デフォルト設定を読み込みますか？

No Erasable Disc in DVD-RW!!...........................DVD-RW 内のディスクが上書きできません。

Preparing.. システムは記録の準備中です。

Press a Key to Eject Fail Disc....... コピーに失敗したディスクを取り出すにはキーを押します。

Press a Key to Eject Good Disc... コピーに成功したディスクを取り出すにはキーを押します。

Read disc error .... コンペア中にディスクが読み込めなくなりました。

Save new config Fail!.. 新しい設定が保存できませんでした。

Source Disc Empty!!!.. ソースディスクに何も情報がありません。

Source Disc Not Ready............................. ソースディスクの読み込みが準備できていません。

Source Drive Not Ready............................. ソースドライブの読み込みが準備できていません。

Src&Tgt can't in the same channel................................ コンペアを行う場合、ソースディスクとターゲットディスクは同じチャネルに接続できません。

Target Disc Not Empty!!!................................... ターゲットディスクにデータが存在しています。
Target Disc Not Ready......................... ターゲットディスクに書き込み準備ができていません。
Target Drive Not Ready......................... ターゲットドライブに書き込み準備ができていません。
Target overflow... ターゲットディスクの空き容量が不足しています。
TOC not match.. コンペアの結果、内容が一致しませんでした。
User Abort!.. 操作中にキャンセルされました。

2. HDD を接続している場合

All data will be lost, format.....HDD 内のすべてのデータが消去されます、確認してください。
Delete Image in Partition xx? ....パーティション xx 内のイメージを消去します、確認してください。
Format HDD?..HDD をフォーマットします、よろしいですか？
Format HDD OK! ....HDD のフォーマットが終了しました。
HDD not Format!..HDD がフォーマットされていません。
HDD too small ....HDD 容量が小さすぎます。
HDD too small to handle image!......HDD の残り容量がイメージを入れるために不十分です。
Image Exists Overwrite?...パーティションにイメージが存在しています上書きしてよろしいですか？
Image load Fail......................... DVD から HDD に正常にイメージがロードできませんでした。
Image load OK.....................................DVD から HDD に正常にイメージがロードされました。
No Image in Partition xx.................................... パーティション xx にイメージが存在しません。
No Valid HDD!...HDD が検出できません。
Partition Damage... パーティションが破損しています。
Select HD First!.................................. はじめにフォーマット済みの HDD を選択してください。
Verify Disk or Partition?............................... HDD 全体を検証するか選択パーティションのみを検証するか選択してください。
Verify Hard Disk Fail!..HDD の検証に失敗しました。

3. オーディオエディットモード

Burn or Move to partition?..データを直接ディスクにコピーしますか？

それとも一度 HDD のパーティションに移動しますか？

Can’t edit HDD........................ HDD はソースとなるオーディオディスクとして選択できません。

Close all disc’s session?... ディスクセッションを終了しますか？

Continue edit next Disc?.. 音楽ディスクの編集を継続しますか？

End edit disc and burn?.. 編集を終了して書き込みを行いますか？

Erase selected Tracks?............................ トラックの選択を終了し、編集情報を破棄しますか？

Ins empty disc Continue?.............................. 空メディアを入れ替えてコピーを継続しますか？

Insert next disc.. ... 次のオーディオ CD を挿入してください。

NO AUDIO track in this disc......... ソースディスクにオーディオトラックが収録されていません。

Sessions were closed already! .... ディスクとのセッションは終了済みです。

Target Overflow Re-S elect.............選択したトラックを収録するにはディスク容量が不十分です。

トラックの選択をやり直してください。

Tgt overflow, del last trk?.................選択したトラックを終了するにはディスク容量が不十分です。

最終トラックは削除してよろしいですか？

4. ファームウェア アップデート

Check Sum Error!....................................... アップデートしたファームウェアに問題があります。

Flash ROM fail!... フラッシュ ROM にデータが書き込めません。

Invalid firmware .... ディスクに正しいファームウェアが収録されていません。

Last update F/W Fail!....................................... ファームウェアのアップデートに失敗しました。

Last update F/W OK!.. ファームウェアのアップデートに失敗しました。

Searching F/W .... 適切なファームウェアを探しています。

Source can’t be Hard Disk!.........................HDD をコピー元として利用することはできません。

主な仕様

製品名		マルチCD･DVDライタ(*1)	
型名		DVMR870	DVMR1110
書込枚数	Disc to Disc	7 10	
	Hdd to Disc	8 11	
PC接続(USB2.0)		○（一番上のドライブ）	
書込自動スタート		○（設定によりブランクメディア挿入で自動スタート）	
HDD保存データ数		DVDで約50(250GB)	
F/Wアップグレード		○（CD,DVDより）	
読み込み対応メディア	DVD	DVD-ROM/DVD-Video, DVD-R(for Video, for Data, for Authoring), DVD-R Dual Layer(for Video, for Data, for Authoring), DVD-RW(for Video, for Data), DVD+R(for Video, for Data), DVD+R Dual Layer(for Video, for Data), DVD+RW(for Video, for Data), DVD-RAM(for Video, for Data)	
	CD	CD-ROM, Audio CD, CD-R, CD-RW	
書き込み対応メディア(最大) (*2)	DVD	DVD-R, DVD-R Dual Layer, DVD-RW, DVD+R, DVD+R Dual Layer, DVD+RW, DVD-RAM	
	CD	CD-R,CD-RW	
書き込み速度(最大)(*2)	DVD	DVD-R DVD+R 20倍速, DVD-RW 6倍速, DVD+RW 8倍速, DVD-R DL DVD+R DL 8倍速, DVD-RAM 12倍速	
	CD	CD-R48倍速,CD-RW32倍速	
幅×高さ×奥行(mm)(突起部を除く)		180×470×450	180×600×410
重量		約20kg	約25kg
消費電力		最大300W	最大400W
保証		1年間無償保証	
付属品		取扱説明書、保証書、メディア10枚(DVD-RW) USBケーブル(2m)、ソフトウェア(CD)	

(*1) BDドライブに入れ替えることで将来BDライタとして転用できます(ファームウェアのアップグレードとあわせて弊社にて承ります)。

(*2) 書込み速度や使用メディアによってはうまく書込めないことがありますので、そういう場合は書込み速度を変えたり、メディアを代えて試してください。

・ 記載されている内容、仕様は2009年8月現在のもので予告なく変更する場合があります。また製品写真は出荷時と異なる場合があります。

ご注意

- 本書は著作権法で保護されており、弊社の文章による許可がない限り複製，転載，改変などは一切お断りいたします。

- 本書の内容につきましては、製品改良のため予告無く変更する場合があります。

- 本書は万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り，記載漏れなどお気づきのことがございましたら、直接弊社へご連絡ください。

- 本製品を運用した結果の影響につきましては、上記にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

お問い合わせ用紙

(株)レクサス 行

FAX：046-392-5572

・　　　年　　月　　日　　　　・貴社名

・ご所属　　　　　　　　　　　・お名前

・TEL　　　　　　　　　　　　・FAX

・e-mail

・ご住所 〒

製品名：DVMR870　　(Ver.　　　　　　)
DVMR1110　　Boot 時または 3.11.16 System Info で確認

Serial No.:

(お問い合わせ内容)

★ このページはコピーしてお使いください